

学 校 教 育 目 標
自ら学び、豊かな心で明るく健康的な子どもの育成

本校におけるESDの目標
将来にわたって、持続可能な社会を構築するために一人一人が環境と深いつながりがあることを知り、身近な環境を大切にする心情を育てる。

本年度の重点目標
身近な環境と積極的に関わりながら、環境や資源、文化遺産についての理解を深め、環境を大切にする心を育てると共に環境保全やよりよい環境の創造のために、主体的に行動しようとする心情を育てる。
○食育 地域の特色を生かし、友だち、家族、地域の方々など、「人とのかかわり」を大切にして豊かな心を育むとともに、食生活に関心を持ち、自ら食に関する考えを深めながら、心身ともに健康な子どもを育成する。
○環境汚染問題・環境保全 鳴川の河川や生活排水路に行って環境汚染の実態を調査したり、観察したりする活動を通して環境問題に対する人間の責任と役割を理解させると共に環境保全に積極的に参加しようとする心情を育てる。
○自然愛護 地域の豊かな自然に接したり、動植物を育てたりする活動を通し、自然のすばらしさを感じ取ることができる。

学 び 方
① 問題意識を持つこと。そして、取り組むべき課題について知ること。 ② その課題と自分とのつながりを考え、理解すること。 ③ その問題・課題解決のために人と意見を交わし、共にあるべき方向を確認し、行動することができるようにする。

学 年 別 目 標 と 重 点 単 元		
低 学 年	中 学 年	高 学 年
○自然に直接触れる体験を重視し、豊かな感性を育てる。 ○動植物をかわいがり、飼ったり育てたりして、思いやりの心を育てる。	○身近な地域で取れる農作物に関心を持ち、生産される農作物を使って調理し、食の大切さを知らせる。 ○一人一人が環境と深い関わりがあることを知り身近な環境を大切にする心を育てる。	○米づくり、独居老人へのもち配り等を通して、福祉の意義を理解させると共に、地域と深い関わりを持ち、愛情を育てる。 ○自分の将来に自信と夢を持ち、自己実現に向けて積極的に働きかける態度を育てる。
第1学年：なんでもたべよう (関連：生活科) 第2学年：野菜作りをしよう (生活科)	第3学年：玉川探検隊 第4学年：地域の特産物を使って食べ物や飲み物を作ろう	第5学年：米づくりに挑戦しよう 第6学年：野草学習（玉川の自然にふれよう）

道 徳	教 科	総 合 的 な 学 習	特 別 活 動
○自然の偉大さを知り自然に対する豊かな感性を養うと共に、自然環境を大切にする態度を育てる。 ○生命に対する畏敬の念を持ち、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ○郷土の文化や生活に親しみ、郷土を大切にしようとする態度を育てる。	○環境に積極的にかかわって、環境に対する関心や理解を深め、よりよくしようとする意欲や態度を育てる。 ○環境とかかわり、よりよい環境づくりのために考えたり、判断したりする思考力や判断力、表現力を育てる。 ○環境にかかわって、課題を見つけたら、解決したり、創造したりするために必要な知識理解や技能を育てる。 ○プログラミング教育の基盤形成 ※植物の栽培活動 ※具体的な活動や体験の重視 ※地域素材の教材化 ※映像教材の活用 ※コンピュータの活用	○身近な環境と積極的にかかわりながら、環境や資源についての理解を深め、環境を大切にする心を育てると共に環境保全やよりよい環境の創造のために、主体的に行動しようとする心情を育てる。 ○安全環境作り ・安全マップ作成 〈食育〉 ・自然の仕組みと食の関係、季節や地域の文化と食べ物の関係について学習し、地域を大切にしようとする心情を育てる。 〈自然愛護・生命尊重〉 ・地域の豊かな自然に接したり、装飾物を育てたりする活動を通し、自然の素晴らしさや生命の連続性、大切さを感じとる心情を育てる。 〈資源の有有限性・再利用〉 ・断水やリサイクルの日などの身近な生活体験を通し、資源に限りあることやその再利用の大切さを理解し、資源を大切にする生活を心がけようとする心情や実践力を育てる。 〈環境汚染問題・環境保全〉 ・河川や生活用排水路に行って、環境汚染の実態を調査したり、観察したりする活動を通し、環境問題に対する人間の責任と役割を理解させると共に、環境の保全に積極的に参加しようとする心情を育てる。(鳴川等)	○学校行事等の実践的な集団生活を通して、自然や文化などに親しみ大切にする心を育てる。(遠足、集団宿泊的行事) ○清掃活動を通して、身の回りの環境美化に対する態度を育てる。(勤労生産・奉仕的活動) ○委員会活動 ○クラブ活動 (フィールドワーククラブ)
家庭・地域社会	外国語活動		SDGsの視点に立った その他の教育活動
○学校と家庭、地域社会が連携した活動を通して、郷土の文化や伝統を大切に心やすする自他ものを大切にする心や賢い消費生活の習慣を育てる。 ○学校での体験を生かして、よりよい家庭及び地域環境を創造しようとする態度を育てる。	○ネットワークを活用し世界中の学校と積極的に情報や体験を分かち合いコミュニケーションを図る態度を育てる		○清掃や環境学習を通してSDGsの視点に立った環境美化や保全に対する意欲や態度を育てる。 ○韓国 蒼水初等学校との交流